

学校だより

自分も人も大切に

～思いやり

・チャレンジ

・しなやかな心～

令和元年度 第6号

2019. 6. 12. 発行

葉山町立長柄小学校

校長 岡部厚子

Tel. 046-875-6860

Fax. 046-876-0682

* 野花 昆虫 小鳥たち 命溢れる長柄台 笑顔はじける 長柄の子 *

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae/>

6月1日の第44回運動会ではたくさんの応援をいただき、ありがとうございました。代休明けの火曜日には、少し気が抜けたような、疲れがまだ少し残っているような、そんな様子もありましたが、運動会が終わった感想を読むと、それぞれに充実感を味わったことが伝わってきます。

入梅の前ぶれか、通学路の階段にカタツムリの赤ちゃんを見つけました。命溢れる長柄台で、子どもたちの笑顔がはじけるよう、これからも応援をお願いします。



ちょっと変わった殻の
かたつむりでした

= 子どもたちの笑顔のために =

「子どもたちの笑顔を守りたい」という気持ちは、ご家庭の皆さま、地域の皆さま、学校の教職員が思いを一つにすることであります。今回の運動会でも、テントの貸出や駐輪場の整備など、様々な場面で地域の皆さまから応援をいただきました。本当にありがとうございます。

昨今、子どもたちにかかわる事故や事件など、心配なことが少なからずある中で、学校では次のようなことに取り組んでまいります。ご家庭、地域の皆さまにもこれまで同様ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

【交通安全】

- 校内で廊下の右側を歩いて通る指導を通して、登下校の際も広がらずに歩く指導を続けます。特に階段では、走ったりして前の人にぶつかったりすることがないように各クラスで声かけを継続しています。
- 職員による通学路点検を実施し、危険な箇所等がないか確認を行います。
- ◎ 日頃より地域の皆さま、ご家庭の皆さまには登下校の際の見守りや旗振りにご協力をいただき、ありがとうございます。お子様の送り迎えの際にもパトロール証を着用の上、積極的にお声かけいただければ幸いです。

【生活安全】

- 先日の痛ましい事件を受けて、学校のまわりや通学路の近くに不審物や普段と違うことがないか、職員で出退勤の際に意識して見ることを確認いたしました。その上で、何か不審なことがあれば、警察と連携して安全確認、安全確保を進めてまいります。
- 「あいさつ」の励行が、子どもたちの命を守ることに繋がると考え、「あいさつ」の大切さ、良さを子どもたちと確認し、行動に移せるよう具体的な指導を行っていきます。
- ◎ 地域での声かけも、いつもありがとうございます。今後とも積極的なお声かけをよろしくお願いいたします。
- ◎ 学校周辺での不審者情報については、今後もあんしんメールで配信してまいります。

【いじめ防止・教育相談の充実】

- いじめ防止に向けて、昨年度に引き続き「道徳科」の授業や、学校全体の活動を通して、周りの人の気持ちを考えられる、周りの人を自分と同じ重みで大切にする気持ちを育てます。
- 教職員は子どもたちの少しの変化も見逃さず、見守っていくために、校内研修や職員会議を通して共通理解を図るとともに、児童とかかわる時間を多くするように努めます。
- 児童対象のアンケートや聞き取りからいじめの早期発見に努めます。
- 相談や通報のあった事案については、「いじめ防止等対策委員会」を通して情報共有と解決にむけて対応を検討し、子どもたちの心に寄り添った対応と指導を行います。
- 子どもや保護者の方から、教育相談があった場合はその内容に応じて学年や教育相談コーディネーター、スクールカウンセラー、管理職、外部機関との協力体制の元、問題解決にあたります。
- ◎ ご家庭で（又は地域において）「変だな」「困ったな」ということは、遠慮なくご相談ください。

なぜ、運動会があるのか？



6年生がこのテーマで書いた説明文を読ませてもらいました。とても、素晴らしい内容ばかりで、その考えの深さに関心させられました。全員の方ではありませんが、一部、ご紹介させていただきます。

私は周りとの協力すること、そして、その人達に感謝することを大切にしています。これを、気づかせてくれるのが「運動会」だと考えています。「協力」「絆」などは学校行事でよく使われる言葉だし、大切なことです。運動会では団体戦や表現、係の仕事など、みんなと力を合わせることでなるものが多いので、協力することの大切さを改めて実感できます。

そして「感謝」。考えてみると運動会は周りに感謝することが多いです。「自分に力を貸してくれたこと」「応援してくれたこと」「家の人たちが運動会に来てくれたこと」「先生たちがこの日までずっと私達をサポートしてくれたこと」…。数えてみたら、たくさんありました。色々な人に感謝します。運動会は、普段からしていること大切に気づかせてくれます。今年で最後だったけど、今後につなげていきたいです。

なぜ運動会があるの？(チコちゃん風)
こんなことも知らずに、生きている日本人がなんと多いことか。でもチコちゃんは知っています。

「運動会があるのは、みんなと協力する楽しさを知るため～」
では、説明していきます。運動会は準備からみんなで協力しながら作り上げていきます。例えば応援団は、みんなで応援歌を考えたり、前日の準備では、その係の人たちみんなが協力しています。みんなで協力することで、仕事が早く終わった係もありました。

そして、当日、みんなが協力したことによって最高の運動会ができるのです。

このように、みんなで協力すれば、こんなにステキなことができるんだと気づけば、協力する楽しさを分かち合えるはず。それを知ることができる運動会は大切なのです。

僕たちは毎年必ず運動会をやります。では、なぜ毎年運動会をやるの？と考えると、ぼくは全学年の交流、お父さん、お母さんとの交流の機会が(他には)少ないからだと思います。(中略)朝のつどいと、時間が短い運動会みたいに長い時間でみんなと交流できません。長い時間の集まりの方が仲が深まると思います。

なぜ運動会があるのか。それは、普段気づかない「きずな」を深めるためだと思います。なぜなら、秋に運動会をやる学校もあるけど、学校が始まって最初の方に運動会をやるのはそのためではないでしょうか。…

私は今日「なぜ？」と考えるまで、毎年毎年三色で一位をとったらうれしくて、三位をとったらただ悲しい、二位をとったらくやしい、という行事かと、ずっと思っていました。運動会はイジワルな行事だと思っていました。

でも、今私は、運動会はとても大切だと思います。なぜなら、運動会は自分にとってとっても「ため」になるからです。例えば5、6年は係の仕事をして、運動会をみんなのためと自分のために、みんなで協力して作り上げるからです。なので、みんなとの仲も深まると思っています。このように、みんなとの仲も深まり、自分の「ため」にもなるので、運動会が大切だと思いました。

ぼくは、運動会をすることは、とても重要かもしれないと考えました。なぜなら、大人になったときに大切なことが学べるからです。例えば、みんなで楽しく運動会をしていると、自然と「どうすれば勝てるかな？」とか「どっちが勝つと思う？」とかいろいろコミュニケーションがとれたりする。このように段々6年間やっていくうちに、いろいろなことが身につく。勝ったり負けたりしても「楽しかったな～」と思えるようになってたりする。「負けたからつまらない」とか「勝ったーわーいやったー」とか人の前でずっと言ったりしていると人を傷つけてしまったりする。このように運動会をやると、いろんな「れいぎ」とかが学べるから、運動会をやるんだと思う。行事としても楽しいから…。まあ、そういうことなんだと思う。

根岸さんの田んぼ

今年も通学路(緑・青・オレンジコース)の脇にある根岸さんの田んぼをお借りして、5年生が稲を育てます。6月5日に田植えを行いました。小さな苗を5本ずつくらい鉛筆を持つように持って、間隔をあけて植えていきました。収穫までにこの苗が、どんな風に育っていくか、学校の行き帰りに見ることができるのが楽しみです。8月15日頃には、稲の花が咲くそうです。みんなで大切に見守っていきましょう。

